

これからのSA吹田

SA吹田会長 小川忠夫(18期 世代)

今回の政権交代とSA吹田の活動とは直接関係は無いが、歴史的な転換期に立ち会った感がある。このことによって、私たちの生活が変わるのか、変わらないのか。生活がよくなるのか、そうでないのか、ここ一年ほどは政治の世界から目が離せない。

一方私たちSAを取り巻く環境も大きな変動があり、今後ともいろいろな変化が予感される。旧老大とSA養成講座が統合されNPO高齢者大学校が発足した。

SA養成講座は従来4講座あったものが2講座に縮小されたが、その活動内容は従来にもまして活発であると聞いている。吹田市在住者でSA養成講座の受講者は、過去には40人を数えた時もあったが、今年は13名である。SA連協はもとより、各地区SAにとって、人材の供給源であるSA養成講座修了者の減少は死活的問題である。

そこで、SA会員をSA講座修了者だけに限定せず、一般の市民の方々も迎え入れ幅広い活動体を目指すのか、連協をはじめ各地区SAでは議論が始まっている。

SA吹田では既に3年前から「心ふれあいネット」を立ち上げ、一般市民を迎え入れた幅広

い活動を展開している。その会員数は現在30名を超える規模となった。

SA吹田としては、ボランティア団体として広く人材を求め活動をより活性化していくために、SA講座修了者もそうでない方々も同じ立場で活動できるようにしたいと考えている。

来春の総会には、その為の規約改正を提案するつもりになっている。

平成元年に発足したSA吹田も20年が経過し、来春には20周年の記念行事や記念誌の発行を検討したいと考えている。先輩たちのたゆまない努力と団結した行動力でここまで到達したことに感謝し、会員の皆様の心に残るような催物にしたい。実行委員会を立ち上げ会員の皆様のご意見も頂き計画したいと考える。

最近のSA吹田の活動では、従来の「おもちゃ」と「歌体操」の他に「国際交流」の小学生と留学生との文化交流や「福祉部会」の福祉教育支援(アイマスク・車椅子体験)等の活動が目覚ましい。この活動を後押しする地域別の「ブロック」活動も軌道に乗ろうとしている。

今年から始まった「福祉ボランティア派遣事業」を軌道に乗せてSA吹田の活動を全面的にサポートする体制を構築したいと考えている。

アイマスク講習会のお知らせ

日時 平成21年10月9日(金) 13:00~

場所 総合社会福祉会館 (玄関前に集合)

車いす講習会、高齢者疑似体験に引き続いての講習会です。どなたでも参加できます。今後の小中学校での福祉授業支援などに役立てます。

(お問い合わせなど:福祉部会長、三好桂子 6831-8423 まで)

小学生と外国人との交流授業

ソーラン節が結ぶ子供たちと留学生

9月17日(木)本年度第一回目の交流会が、吹田第三小学校で行われました。本校は昨年続き第二回目です。留学生は、ティアゴさん(ブラジル) エリックさん(ケニア) エルデネバトさん(モンゴル)の3人。ティアゴさんは本校は2度目で、ゆとりが感じられ、他の二人は緊張気味ですが、ケニアのエリックさんは、見事なお肌の褐色で子供の注目を集めました。昼食時、子供たちの大きな拍手に迎えられ各教室を回り挨拶。留学生と我々SA会員も子供たちの質問を受けながら、一緒に給食を頂きました。

午後の勉強は、各国の衣・食・住を中心に生活環境など、パソコン、プロジェクター等で説明がされました。子供たちは初めて見る国の有様に、目を凝らしていました。特にブラジルでは

国際交流部会 金馬弘昌(20期 国際) サッカーの話、クイズ、ケニアでは広い草原を駆ける動物(ライオン、ヒョウ、ゾウ、サイ、キリン等)の話に惹かれました。

次いで、体育館でお互いの文化の交換会を開きました。ティアゴさんは昨年と同じサンバ専用のタンバリン、エリックさんはケニアの手拍子踊り、エルデネバトさんはモンゴルのゆっくりした、大きな踊りを紹介。次いで子供たちから稽古を重ねた「南中ソーラン〔節〕」でお礼。留学生3人も喜んで飛び込み、手振り、足運びも良く網を引く姿、笑顔で受ける子供たち。国を越えて全く心の触れ合う情景でした。今日の交流会の思い出が、子供たちの心に新しい芽生えを生む事を期待し終了しました。



恒例の「よっといで祭り」に参加

熊田真也(18期 世代)

9月13日(日) 千里南公園で開催の「よっといで祭り」に、SA吹田の精鋭35名が参加。作品数18種類、合計1700個を提供しました。昼食をとる間もないほどの大盛況でした。



風車、ひらひらコプター、ぶんぶんゴマ、消えないシャボン玉など、動きのあるものが人気。準備も当日も大変でした。参加された皆様お疲れ様でした。

NPO高大シルバーアドバイザー歌体操クラブ発足

S A吹田がクラブの歌体操指導を始める

今年から開講した、NPO高齢者大学のシルバーアドバイザー講座の皆さんが歌体操クラブを発足させました。これは7月に開催された、高齢者大学とS A連協との交流会でS A吹田が歌体操の紹介とパフォーマンスを行ったこと

がきっかけで歌体操クラブが発足しました。

月2回の練習にS A吹田から毎回4名が講師として出向きます。小桐剛氏、橋本一江氏を中心に総勢8人でローテーションを組み指導を行います。
小川忠夫(18期 世代)

歌体操介護予防ボランティア市民塾 講座順調にスタート

総勢50人で月2回の講座が楽しく始まりました

8月から始まった「歌体操介護予防市民塾」講座は前田弘美講師指導の「健康体操」講座とイン吹田のベテランの方々による「歌体操」講座の2本立てで始まりました。

現在塾生40人と支援者10人の総勢50人の大所帯となりました。橋本塾長を先頭に3人のスタッフは大忙しですが大勢の熱気に押されて頑張っています。加藤昌子(18期 福祉)



秋からの生涯学習吹田市民大学 新コース募集

「市民活動始めませんか」コース S A吹田に講師依頼ある

この講座は大阪府シルバーアドバイザー養成講座とよく似た講座です。ボランティアをはじめたいと思っている人を対象に基礎から学ぶ市民活動入門コースです。

10回シリーズで11月から始まり翌年1月までの3ヶ月で修了します。場所は北千里小学校跡の教室です。今後はこの場所が市民大学の拠点になります。

この市民大学に「SA吹田」と「歌体操市民塾」が講師として招かれています。SA吹田は「おもちゃ作り」をテーマに講義と体験学習を行ないます。歌体操市民塾は10回目の最終日に皆で歌体操を行い盛り上げようと思っています

す。もちろん歌体操の歴史や高齢者施設での活動による成果などを講義します。

SA吹田が吹田市に要望していた、シルバーアドバイザー養成講座の開設が少し形を変えて実施されます。今後もっと本格的なシルバーアドバイザー養成講座を目指して取り組んでいきたいと思っています。今回の市民大学の取り組みは「高大同窓会吹田」の奥谷会長のお力添えで実現したことを申し添えておきます。今後のSA吹田の活動は市民大学や市民塾を通してボランティア人口を増やし地域社会に貢献することが重要になってくると思っています。

小川忠夫(18期 世代)

吹田再発見

村上 正 (19 期 国際)

在職中は、吹田に暮らしながら毎日大阪と自宅の間を往復するだけで、吹田のことなど何も知りませんでした。退職して地域に根を生やした生活を始めると、吹田の歴史は何か素晴らしいものがあると気がつきました。

それは、吹田市立博物館に足を運ぶようになったからです。あそこの館長さんは、実にユニークな人柄の方で、いや縄文文化の大権威者だったのです。あそこでは、実に多くのことを学びました。

吹田の背後にある千里丘陵には、象や鱶なんかも住んでいたんだとか、吹田には弥生時代の遺跡なんかが続々出てくるんだとか、その下には

縄文時代の遺跡もあるのだとか。吹田は須恵器の窯跡が一杯あったとか。そして、聖武天皇の作られた後期難波宮の瓦は吹田で焼かれたのだとか。

そこで、もっと吹田の歴史を知ろうと、吹田市民大学の特別講座の「吹田再発見」コースを受講しました。講義のなかには、色々有意義なお話もありましたが、特に、最後の講義であった、吹田郷土史研究会会長の佐々木進さんの「すいたのはじまり」という題の、吹田の地名の由来の話は、その考察も深く、非常に素晴らしいものでした。こういう講座はまた聞きたいと思います。

オーストラリアと日本の福祉の違い 2

田原美佐穂 (19 期 国際)

翌日の午後、友人と待ち合わせをした。彼女は日本人、オーストラリア人(在住 30 年) 彼女の話によるとそれは公共の老人ホームで建物も綺麗で一人一室、一人暮らしは無理でも、自分の身の回りのことが出来る人のための施設で入居者は政府から支給される年金から施設の費用を差引かれるが、連邦政府から個人に幾らかの補助金が支給される。個人秘密で金額は分からないが、施設の中に顔見知りの日本人男性が入居していて小遣いには不自由なく、好きな釣りをして楽しんでいるという。

オーストラリアは公的年金を掛けていなくても、一度も働いていなくても 65 歳を過ぎると誰にでも一定の年金が支給される。贅沢さえしなければ年に一度は遠出旅行が出来るらしい。

別にスーパーニューエーションと言って、働いている間に自分の年金を積み立てておくこと

ができ、退職後その年金を受取れる受給者負担形式もあるが、その受給額によっては公的年金は貰えない。

どちらにしても生活には困らない。そういえばホームレスの姿は見なかった。

オーストラリアは福祉国家というので「老人ホーム・施設」などへ日本からの訪問者が絶えないと聞く。

施設によっては日本人形などが多く飾られているらしい。(次号に続く、失業保険について)



◇ ブロック紹介 ◇

第一ブロックについて



第1ブロック長 村上 正 (19期 国際)

SA 吹田の第1ブロックは、吹田市の北部、中央環状線以北の部分で、近くに、大阪大学、千里金蘭大学、国立循環器病センター、そして千里万博記念公園があって、環境にめぐまれた所です。町は青山台、古江台、藤代台、山田北、上山田で、殆どが千里ニュータウンに属します。千里ニュータウンは近隣住区という都市計画の方式で開発されています。それは人口約1万人を基準にして、そこに一つの小学校を設け、そのセンターには商業施設と医療施設を設置します。そして、二つの小学校区に一つの中学校を設けます。しかし、計画はとかく予想がはず

れ、開発当初は若いカップルがどっと入ってきたため、小学校が足りなくなり、もう一つ小学校を作ったのに、最近では少子高齢化の社会になったため、廃校になってしまいました。それから、当初想像もしなかった大型店舗(スーパーマーケット)が随所にでき、近隣センターの商業施設がさびれてきました。この二つは失敗でしたが、それ以外は良好な住宅地と言えるでしょう。このSA吹田通信の配布にお世話になっているのは、青山台では新崎盛哲様、藤白台と山田地区は永井俊雄様、古江台4,5丁目は小北月子様、その他地域は私が配っています。

平成21年9月度SA吹田役員会議事録抜粋

1. SA吹田/心ふれあいネットの今後の方向

SA吹田では3年前から「心ふれあいネット」を立ち上げSA修了者に限らず一般市民を迎えて活動を進めてきました。その会員数も30名を超えました。

今後はNPO高齢者大学校や生涯学習吹田市民大学の修了者などの希望者も受け入れ可能なSA吹田の組織はどうあるべきかなど、会員資格、会費、会の名称、会則等 年末までに役員会として意見集約する。

2. SAハウスの赤字補てん決定

SAハウス設置以降、その経費に関しては部会活動、研修、会議などの利用料で賄ってきたが、現在約2000円超/月の赤字となっている。当面、SA吹田の活動費から、2000円/月を支出補てんすることを決定した。

3. SA吹田20周年行事について

記念行事、記念誌発行など何らかの行事をおこなうかどうかを検討する。検討チーム発足の予定。

4. 部会報告

1) 歌体操部会

NPO高齢者大学校に歌体操クラブが発足し、依頼があつて歌体操の指導をおこなうことになった。

2) おもちゃ部会

府立千里高校での「高齢者交流会」10月19日午前午後、20日午前、22日午前午後、23日午前午後。

3) 国際交流部会

小学生と外国人との交流授業支援が2学期が順次始まる。

4) 福祉部会

小中学校での福祉授業支援が2学期より始まる。

5) ブロック部会

各ブロックの紹介をSA吹田通信に順次掲載する。



平成21年8月度S A連協理事会議事録抜粋

アクティブシニアフェアに参加
 日時 10月31日(土) 1000～1700
 場所 府庁新館、新別館、大手前広場など
 SA連協として4ブース出展予定、ステージ出演(歌体操、堺SA) 実演コーナー(飛行機作り、大阪SA)、(折り紙等、堺SA)ほか

NPO高齢者大学校関連事項

NPO高齢者大学校修了者については、基本的には
 高大同窓会連絡協議会(旧老人大学同窓会)とSA連協

(各地域SA)が受け入れることになる。各地域SAにおいて、どのような形で受け入れるのか、会員資格などについても年内を目途に検討してほしい。

SA組織の高大修了者へのPR手段について、アクティブシニアフェアでの紹介 11月13日に開催の高大文化祭で各地域のPR 12月14日(予定)のSA地区別交流会でPR 1月後半からのクラスミーティングでPRなど。

SA吹田 活動予定				
SA吹田全般	日時	内容	担当	場所
10月9日(金)	1000～1200	10月度SA吹田役員会	総務	総合福祉会館
10月19日(月)	1000～1200	歌体操部会	藤川安高	メインアター
10月31日(土)	900～1200	印刷/ブロック長部会	広報/ブロック長	亥の子谷コミュニケーションセンター
おもちゃづくり	日時	内容	担当	場所
10月10日(土)	1000～1200	おもちゃづくり市民塾	小北月子	北千里公民館
千里高校の「高齢者交流会」 10月19日午前午後、20日午前、22日午前午後23日午前午後 担当:松川裕				
10月25日(日)	1000～1530	花と緑のフェア	小北月子	江坂公園
10月31日(土)	1000～1500	北千里公民館文化祭	小北月子	北千里公民館
高齢者ケア	日時	内容	担当	場所
10月17日(土)	1400～1500	歌体操	加藤昌子	グループホーム「たんぽぽ」
10月16日(金)	1400～1500	歌体操	加藤昌子	弘済院第2特養
10月21日(水)	1400～1500	歌体操	船田弘子	スローライフ千里
国際交流	日時	内容	担当	場所
10月9日(金)	1040～1215	外国人との交流授業	内田格子	山田第2小学校
10月16日(金)	1340～1515	外国人との交流授業	田尻駿一郎	佐竹台小学校
福祉教育	日時	内容	担当	場所
10月21日(水)	1300～1500	アイマスク	三好桂子	佐竹台中学校
10月23日(金)	1300～1500	車いす・高齢者疑似体験	三好桂子	竹見台小・中学校
市民塾関係	日時	内容	担当	場所
10月6,20日(火)	1000～1200	歌体操介護予防市民塾	橋本一江	総合福祉会館
10月6,20日(火)	1330～1530	エコおもちゃ市民塾	小川忠夫	SAハウス/デュオ

編集後記

厳しい残暑もやっと終わり、いよいよ秋の到来となります。ボランティア活動も忙しく活況に入りますが、今年は十分注意しなければならないことがあります。新型インフルエンザです。状況によっては施設と十分に打合わせながら計画を中止することも必要かと思えます。今月号も沢山の原稿をいただきありがとうございました。(編集:村松)